

緑のまきば

2017年 No.50

小金井緑町教会

小金井市緑町四・一六・三三

TEL 042-381-7961

牧師 山畑 謙

キリストに根を下ろして

山畑 謙

説教

2017年度の聖句

あなたがたは、主キリスト・イエスを受け入れたのですから、キリストに結ばれて歩みなさい。
キリストに根を下ろして造り上げられ、教えられたとおりの信仰をしつかり守って、あふれるばかりに感謝しなさい。

(コロサイ 2:1-7)

「ゴミ屋敷」が、時々テレビで報道されます。ゴミであふれかえっていきまうものです。ゴミ収集車をいったい何台いっばいにしたら、本当に片付くのだろうか、と思えてきます。行政の清掃局や清掃業者の大勢の人たちが、何日もかかって、やっときれいにしていくケースもありました。「ゴミ屋敷」の報道を見ながら、私たちは、いくらなんでも自分の家ではそのようなことにはならない、と

思っているのではないのでしょうか。ヨハネの黙示録の3章にこのような言葉があります。「見よ、わたしは戸口に立って、たたいている。だれかわたしの声を聞いて戸を開ける者があれば、わたしは中に入ってそらと共に食事をし、彼もまた、わたしと共に食事をするであろう。」私たちの心の戸口に、復活された主イエス・キリストは立って、戸をたたいておられると言うのです。しかし、わたしたちは、戸の内側があまり

りに汚くゴミだらけで、目も当てられない状態であることに、信仰に導かれるほどに気付き、戸を開けるのを恐れて、開けられないでいるのではないのでしょうか。そうです。本当のことを言うと、わたしたちの心の内は、実はゴミ屋敷とたいして変わらないのです。そして自分ではもはやどうしようもなく、お手上げになってしまします。

「キリストに結ばれる」前提に、主イエスを「受け入れたのですから」と言われています。本来ならばとても迎え入れるなどできませんし、自分で何とかしようとしています。しかし、本当にお手上げになってしまいう時、聖霊の助けによってこの自分に向かって「恐れずに私にまかせなさい」との主の御声を聞く出会いを与えられます。そこですべてをおまかせして、主を迎え入れる決断が与えられます。主は十字架によって命の代償を支払って、その汚れきった部屋を完全にきれいにしてください。ひとかけらの罪のゴミも汚れも染みもないように。この完全な罪の洗いきよめ・赦しが、洗礼によって与えられます。洗礼の時に結んだ契約、すなわち罪の洗いきよめ、全き赦しはそれまでの赦しの一回きりではなく、永遠の

御国に入れられるまで有効なのです。

「キリストに結ばれて」という言葉の「〜に結ばれて」とは、「〜の中に、〜において、」という小さな前置詞一つが訳されたものです。英語ですと三です。それを新共同訳聖書は、あえて「〜に結ばれて」として示しています。それは単に立ち位置を示しているのではなく、「結ばれる」というほど、深く強い関係性があることを表そうとしています。譬えるならば、植物が大地に根を下ろして、いつも新しく水分や養分を吸い上げて成長し、豊かに実を実らせるような人格的な交流を指し示しています。日曜日、私たちは自分が主のもと（礼拝）に行くと思っているかも知れませんが、実は逆。主が、私たちのところに来てくださり、戸口に立って戸をたたき、迎え入れられるのを待っておられる。私たちは、せっかくなきれいにしてもらった部屋がまたしても汚れてしまっているのだけでもお迎えする。洗礼の契約に従って「キリストに根を下ろして」とあるからです。すなわち主を汚れた家に再度お迎えして、「それでもなおお前は赦されている」との宣言を頂く。そこに感謝があふれてきて、なお前進する勇気が与えられるのです。